

毎週日曜発行
2024 6/16

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



こども記者が取材

ニュース



宮城・松島で聞くおもてなしの極意

宮城には全国に名だたる観光地があり、いろいろな人がお客を迎えます。宮城県松島町松島二小5年のこども記者、阿部衣吹さん(10)と千葉うめ子さん(10)は、日本三景の一つとして有名な地元松島で、観光客と接する人たちに、おもてなしの極意を取材しました。

(8面に関連記事)

国宝瑞巖寺の入り口そばで、人力車ひびき屋の佐々木大志さん(34)が笑顔で迎えてくれました。2人は早速、重さ120キある人力車に乗せてもらい、大喜びです。



佐々木さんは人力車にお客を乗せて名所を走り、時にはグルメ情報も交え、ガイドを務めます。

楽しい旅 トークが全て

「大事にしていることは何ですか」。千葉さんの問いに、佐々木さんは「お客さんを楽しませること。トークが全てです」と答えました。

「新聞などから広く情報を集め、頭の中で相手に合わせた内容を考えます。お客さんの地元の話題で盛り上がることもありますよ」。外国人の場合同様、独学で覚えた各国の言葉で話すそうです。

雨や強風といった悪天候の時以外は、依頼を引き受けます。暑い日は1



人力車に乗せてもらい、佐々木さん(左)に取材するこども記者

日に7、8リットの水分を取ること。お昼は食べません。ちょっと空腹の方が、頭の回転が速く、トークもうまくいきます」と言います。



阿部さんは人力車の魅力を尋ねました。佐々木さんは「歩くより高い目線で景色を満喫できる。ガイドもおしゃべりも楽しめて、写真も撮ってもらえる。観光するには一番いいセットです」と胸を張りました。

佐々木さんは元々、お笑い芸人を目指し、東京・浅草で人力車を走らせていました。「芸人をやめたら、東京にいる必要がない。故郷岩手県の近くで観光客が多いのは、松島。海とお寺があっていいコースになる」と5年前に開業しました。

「日本全国のお客さんに乗せてみたい。松島いいところだったねと満足して帰ってほしいです」。佐々木さんの夢に、2人は「応援しています」とエールを送りました。

今週の注目ニュース

◇18日(火) おにぎりの日
日本最古のおにぎりの化石が出土した石川県鹿西町(現在の中能登町)が、2002年に制定しました。鹿西の「ろく」と毎月18日の「米食の日」にちなみます。化石は弥生時代の遺跡から見つかりました。

きょうの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 こども記者が宮城・松島のカフェを取材

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ